

環境経営レポート



有限会社 中村自動車工場

対象期間 2023 年 1 月 ~ 2023 年 12 月

作成日 2024 年 5 月 17 日

更新日 2024 年 6 月 18 日

目 次

1. 組織の概要・EA21 実施体制	3 ページ
2. 環境経営方針	4 ページ
3. 環境経営目標とその実績	5 ページ
4. 環境経営目標の取組結果の評価	6 ページ
5. 環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画	7 ページ
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	8 ページ
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9 ページ
8. 主な活動の紹介	10 ページ ～ 11 ページ

1、組織の概要・EA21 実施体制

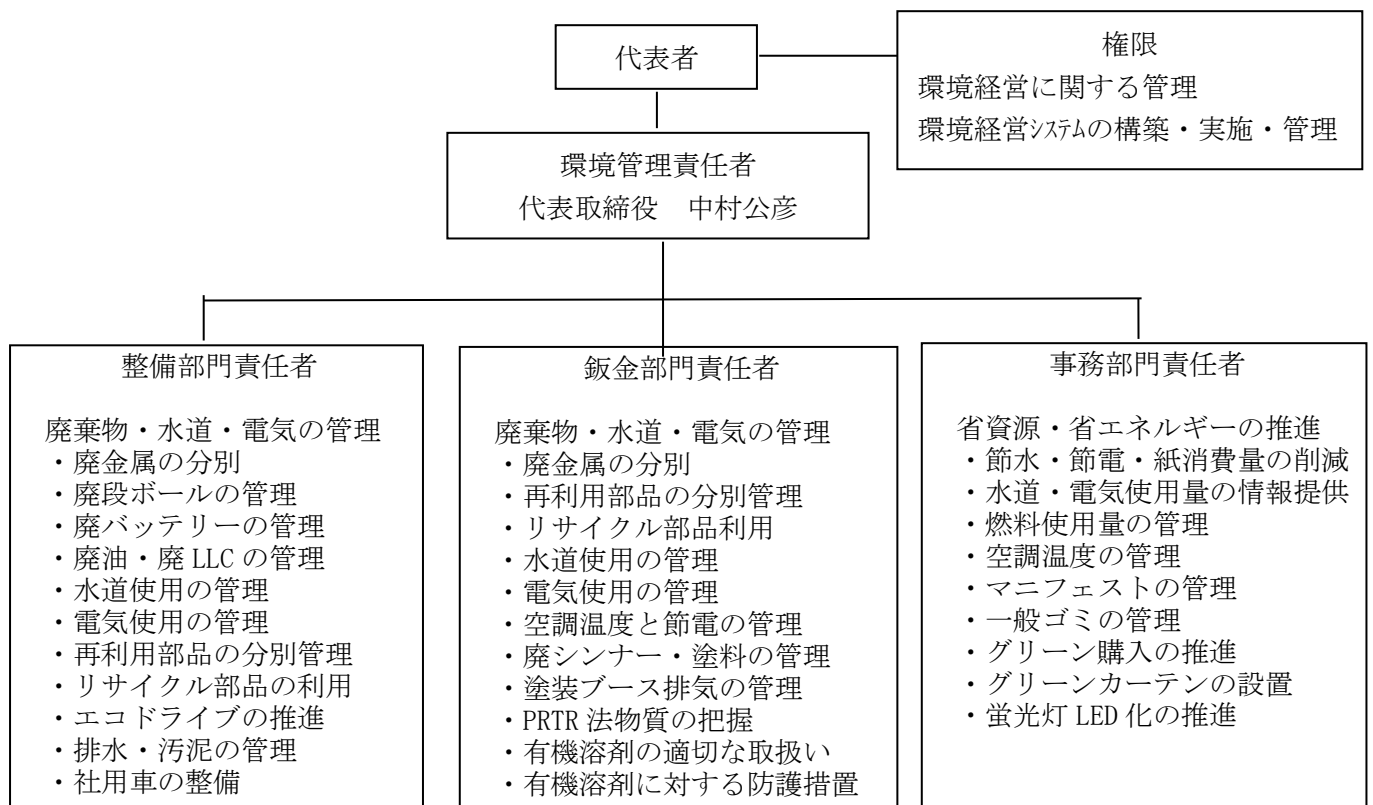
1. 事業所及び代表者

有限会社 中村自動車工場
代表取締役 中村 公彦

2. 所在地

〒710-0042 岡山県倉敷市二日市302-3
電話 086-423-0808 FAX 086-423-0821

3. 環境保全関係役割分担（エコアクション 21 実施体制）



4. 事業内容

自動車整備、販売および保険

5. 事業の規模

社員数 7 名

6. 認証・登録の対象組織・活動

全組織、全事業活動を対象としている

自動車の車検、点検、整備、修理、鈑金塗装、販売、および保険業務

自動車整備事業（自動車特定整備事業及び指定自動車整備事業）

認証番号 30-008

指定番号 岡-164-23456789W

2、環境経営方針

当社は、「環境にやさしい優良事業場」として中国運輸局長表彰を受けており、全社員あがって環境負荷低減に配慮した活動を継続的に取り組んでいきます。

また、「倉敷市・高梁川流域 SDGs パートナー」として、SDGs にも積極的に取り組みます。

1. 環境への取り組み

全員参加で「エコアクション 21」に取り組めます。

環境への取り組みを通じて、本業の見直しによる無理・無駄の排除をします。

2. エコ整備

お客様に低燃費タイヤ（エコタイヤ）の有用性をしっかりと説明し、積極的な販売を行います。

オイル交換時には、低燃費オイルや省エネ効果につながるオイル添加剤をお勧めします。

3. 次世代自動車への対応

自動ブレーキなどの先進安全装置や自動運転などの先進技術の整備のために、令和 2 年に国が制定した特定整備事業者の資格を取得しました。

電子制御装置や電気自動車・燃料電池車などの先進整備技術を習得し、次世代自動車に対応した整備工場作りを推進します。

4. 省資源・省エネルギー活動

事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、電力・紙・水等の資源・石油エネルギーの使用量の削減等環境負荷低減に努めます。

5. リサイクル活動による省資源化の推進

自動車リサイクル法を順守し、中古部品やリビルト品などのリサイクル部品で対応できる修理については、お客さまに説明し、利用の推進をはかります。

また、コピー機に使用するトナーをリサイクルトナーとするなど、リサイクル品の使用を推進します。

6. 廃棄物処理

事業所から出る廃棄物の適正な処理を推進します。

7. 化学物質の適正管理を徹底します。

8. 法の遵守と周知をします。

環境活動を推進するに当り関連する法律等の遵守と社員への周知を徹底します。

制定日 2024 年 6 月 17 日

改訂日 2024 年 5 月 17 日

有限会社 中村自動車工場
代表取締役 中村 公彦

3. 環境経営目標と実績

1) 今期目標と実績（目標値は前年度実績の - 1 % ）（LPG は使用量が微量なため目標設定しない。）

項目	単位	R4 年度 (1～12 月) 実績	R5 年度 (1～12 月) 目標値	R5 年度 (1～12 月) 実績	目標 削減度 %
CO ₂ 総量 (合計)	kg-CO ₂	37,512.7	37,137.6	30,712.1	82.7
	kg-CO ₂ /売上	3,519.0	3,483.8	2,749.5	78.9
電力	kWh	41,871.0	41,452.3	33,904.0	81.8
	kg-CO ₂	23,112.8	22,881.7	18,715.0	81.8
ガソリン	L	5,623	5,567	4,659	83.7
軽油	L	502	497	440	88.5
水使用量	m ³	294	291	310	106.5
	m ³ /売上	28	27	28	103.7
一般廃棄物 (その他の紙)	kg	1,970	1,950	1,900	97.4
	kg/売上	184.1	182.3	170.1	93.3
有益活動：目標は、対前年目標+1%増加とする。					
タイヤ交換 オイル交換	本	564	570	641	112.5
	L	4,300	4,343	6,150	141.6

※産業廃棄物は、4. 環境経営目標の取組結果の評価の 4. 有益活動の通り削減目標としない

リサイクルパーツの利用促進	目標設定は行わないがお客様に積極的な提案を行う
---------------	-------------------------

※次世代自動車への対応として、電気自動車(EV)・ハイブリッド車(HV)・プラグインハイブリッド車(PHV)の入庫の割合を数値管理する。(目標設定は行わない)

今期車検入庫台数に対する E V ・ H V ・ P H V 車の割合	11.5%
-------------------------------------	-------

2) 計画

計画目標は、対前年実績 - 1 % とする。(LPG は使用量が微量なため目標設定しない。)

項目	単位	R6 年度	R7 年度	R8 年度
CO ₂ (合計)	kg-CO ₂	30,405.0	30,101.0	29,800.0
	kg-CO ₂ /売上	2,722.0	2,694.8	2,667.9
電力総量	kWh	33,565.0	33,229.4	32,897.1
ガソリン	L	4,612.4	4,566.3	4,520.6
軽油	L	435.6	431.2	426.9
水使用量	m ³ /売上	27	26	25
一般廃棄物	kg	1,881	1,862.2	1,843.6
産業廃棄物は、4. 環境経営目標の取組結果の評価の 4. 有益活動の通り削減目標としない 有益活動：目標は、対前年目標+1%とする。				
タイヤ交換	本	647	654	661
オイル交換	L	6,212	6,274	6,336
リサイクルパーツの利用促進		目標設定は行わないがお客様に積極的な提案を行う		

・化学物質は、塗装の仕事量に比例するので削減目標値は設定せず、適正管理を行う。

4. 環境経営目標の取組結果の評価

1. 評価のための比較数値算出基準

CO₂ 排出量は、前年対比での目標設定を行うため、電力の CO₂ 排出係数は固定とし、中国電力令和 4 年度係数 0.552 を使用する。

売上は、整備売上と車販売上げに分けているが、車両の販売は単価が大きいため、販売台数の変動が売上高に大きく影響する。しかし、車両販売の増減が電力消費やエネルギー消費量与える影響はさほど大きくないため、レポート作成にあたっては、売上げ原単位は、整備売上高を用いて比較することとした。

2. CO₂ 排出量

CO₂ 総排出量は、目標を達成できた。

昨年同様に事務所西側の窓面にグリーンカーテンを設置し、エアコン暖房使用時には事務所内でサーキュレーターを稼働させて冷暖房の効率化を図った。

ガソリンの使用量は、社用車や代車と販売車への給油がある。軽油は車両運搬車での使用料になるので、今後も引き続き、節電と燃料の節約の取り組みを行なうこととする。

3. 廃棄物排出量

一般廃棄物は、売上原単位で対前年比 93.3%であった。

4. 有益活動

廃タイヤ・廃油などの産業廃棄物は、その販売量に比例して増加することから、削減させることは、有益な事業活動と相反することになるため、削減目標とはせず、交換量を増やすことを（年 1%増）を目標としている。

今期は、タイヤもオイルもの販売量が増加した。

中古部品やリビルト品などのリサイクルパーツで対応できる修理には、お客様へ情報提供を行って利用を推進した。

5. 水使用量

水使用量は対前年比 106.5%、売上原単位 103.7%と若干増加した。

6. 次世代自動車等への対応

車検におけるハイブリッド車や電気自動車などの入庫台数の割合は、2017 年 5.07%、2018 年 5.86%、2019 年 7.10%、2020 年 8.1%、2021 年度 9.0%、2022 年度は 10.8% 2023 年度 11.5%と年々増加してきている。

令和 2 年、電子制御装置に対応した整備工場の資格として、国が新たに制定した「特定整備認証」を取得して、先進技術に対応した整備を提供している。

また、高齢者向けに、後付け式アクセル踏み間違い事故防止装置の取り扱いを始めた。

運輸支局での車検手続きのワンストップサービスや、本年 1 月から始まった電子車検証への対応も行い、10 月から始まる OBD 車検への準備も行っている。

7. 化学物質の適正管理

弊社は、P R T R 法の基準値（従業員数、排出量など）以下の事業規模であるため、届け出義務は負わないが、P R T R 物質を含む塗料などに含まれる化学物質の量を調査し、管理と処理を、法令に照らし適切に行った。

また、有機溶剤作業主任者資格を取得し、有機溶剤の使用上の注意事項を掲示の上防護対策を厳重に実施し、作業者の健康被害低減を図った。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画

◎良く出来た ○まあ出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった

環境経営計画	担当	結果	次年度	次年度の取り組み内容
--------	----	----	-----	------------

1. 二酸化炭素排出量（省エネに関する取り組み）

社用車の効率的な運転を推進する 引取り・納車の合理的な運行	1.2.3	△	継続	全社員の省エネ意識の高揚をはかっていく
電灯をLEDに交換する。	1.2.3	○	継続	
社用車の管理と整備により燃費の削減をはかる	1.2.3	○	継続	定期点検の确实実施
近隣への移動は自転車を利用する	1.2.3	○	継続	
空調は冷房 25℃以上、暖房 21℃以下	1.2.3	○	継続	来客の状況により空調を調節する
不要な電灯や電気機器の消灯を心がける	1.2.3	○	継続	こまめな消灯や機器のOFFを心がける
グリーンカーテンを設置し冷房効果を上げる	3	◎	継続	4～5月にゴーヤの栽培を行う
サーキュレーターにより暖房効果を上げる	3	○	継続	閉店時の切り忘れに注意する

2. 廃棄物排出量（リサイクルに関する取り組み）

分別を徹底し削減に取り組む	1.2.3	◎	継続	分別管理は出来ている
リサイクル可能な部品等を分別管理し活用する	1.2	◎	継続	
金属類やバッテリーなどを分別回収し再資源化する	1.2	◎	継続	バッテリーなどは再生業者へ販売する
使用済みコピー紙の裏紙をメモ用紙	3	◎	継続	

3. 水道使用量

水道に節水の表示をし、啓蒙をはかる	1.2.3	◎	継続	洗車場に表示した
蛇口の閉め忘れ防止の表示をし、漏出を防止する	1.2.3	◎	継続	洗車場に表示した
洗車用ホースにワンストップノズルを取り付ける	1.2	◎	継続	洗車場ホースにワンストップノズルを取り付けた
冬季の凍結対策を施し、破裂漏水を防止する	1.2	○	継続	洗車機水道管に凍結対策を実施した

4. 有益活動

タイヤの販売時にエコタイヤを勧める	1.3	○	継続	お客様に燃費向上などの有益性を説明し、
オイル販売時に低燃費オイルと添加剤を勧める	1.3	○	継続	高付加価値商品の販売につなげる
リサイクルパーツの情報をお客様に提案し利用を勧める	1.2.3	◎	継続	中古部品や再生部品の積極的な利用

5. 化学物質の適正管理

有機溶剤の適正な取り扱いを行う	2	◎	継続	有機溶剤作業主任者資格取得
PTRT 物質使用量の把握	2	◎	継続	PTRT 物質の含有量を調査する
PTRT 物質を適正に保管する	2	◎	継続	

担当 1. 整備部門 2. 钣金部門 3. 事務部門

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果は下記のとおりです。

また、関係当局よりの違反等の指摘、および外部からの苦情はありません。

法規	対象設備	法規制要求事項	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物 (金属類、廃プラ、廃油等)	①許可を受けた委託先と委託契約書を交わす ②産業廃棄物管理表(マニフェスト)を管理する。 ・A、B ₂ 、D、E票は5年間保存、B ₂ 、D、E票の規定期日内の返却確認 ・管理票の交付状況を毎年市長に報告 ③保管場所には掲示板(60cm□以上)を設置	○
水質汚濁防止法 岡山県環境負荷低減 条例	門型自動洗車機 油水分離槽 (一日当たりの平均排水量 0.7 m ³)	① 新設、変更時に倉敷市へ届け出済 ② 油水分離槽の点検 ③ 事故時の措置(知事に報告) ④ 水質検査は、一日の排水量が 50 m ³ 以上に適用されるため対象外	届出済 ○
自動車リサイクル法	廃車 車載エアコン	①引取業者はフロンが充填されている場合はフロン回収業者に、その他は解体業者に引き渡す ②引取業登録の更新 ③整備及び廃棄は許可を受けた回収業者に委託する。 ④廃棄者は回収依頼書を3年間保管する。 ⑤廃棄者は引き取り証明書を3年間保管する。 ⑥フロン類回収業登録の更新	○
フロン排出抑制法	業務用 エアコン	①業務用エアコンの四半期ごとの簡易点検・記録 ②記録を3年間保管する。	○
浄化槽法	合併浄化槽	①保守点検、清掃、法定検査及び記録の保管(3年間)	○
労働安全衛生法	钣金塗装作業場	①有機溶剤作業主任者資格取得	○
消防法 倉敷市火災予防条例	事業場全体	①防火管理者と指定可燃物に関する事項は該当しない ②消火器の点検整備 ③少量危険物保管場所の掲示、基準の順守	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

【総括】

CO2 総排出量は、全ての項目で目標を達成することができた。

整備工場内の蛍光灯を LED に交換したことが要因の一つと思われる。

今後は、钣金工場の蛍光灯も LED に交換する。

また、例年行っているグリーンカーテンの設置を行い、事務所内ではサーキュレーターを稼働して冷暖房の効率化を図った。

今後も、引き続きエアコンの使用に注意を払い、冷房の設定温度は「25℃」暖房は「21℃」とする。

事務所のエアコンスイッチに注意書きを掲示し、お客様にもご理解を頂くよう、表示を継続する。

また、エアコンフィルターの定期的な清掃を行う。

引き続きグリーンカーテンの設置を行い、冷房効果の向上を図り電力使用量の削減につなげる。

顧客サービスとして、販売する車両は燃料満タンで納車することは継続するが、代車の燃料は、できるだけお客様に負担して頂くようお願いする。代車の車内に、使用された分の燃料を補充していただくよう、お願いのステッカーを貼付して総使用量の削減を図っていく。

水の使用量が微増したが、大きな要因は見当たらないため、こまめな節水を心がけることとする。

リサイクルパーツの利用は、リサイクルパーツの情報を積極的にお客さまに提案し、事務所内にポスターを掲示して利用を促進するが、目標管理とせず、維持管理とする。

廃車のリサイクルやフロンガスの処理は、自動車リサイクル法を順守し、適正な対応を行う。

今後も、今まで通りの環境経営方針を踏襲し、法令順守に努め、目標管理は年次単位で行い、電力、化石燃料、水の使用量と一般廃棄物を削減し、CO2 排出量の目標を前年実績のマイナス 1 % に設定し、産業廃棄物の廃タイヤ、廃油は、有益な事業活動の結果として、前年度実績のプラス 1 % を目標としていく。

車検・点検の入庫誘導を積極的に実施することと、新車中古車の販売を強化し、特に中古車オークションの活用に力を入れて、中古車の仕入れや、効率の良い下取り車の売却を行っていく。

また、新たな商材として、高齢者向けに、後付け式のアクセル踏み間違い事故防止装置「アイアクセル」の販売代理店となり、FM ラジオで CM を流すなど拡販に取り組んでいる。

コロナの影響で取りやめていた「お客様感謝祭」を令和 4 年に再開し、令和 5 年も開催することができ、お客さまとの絆を深めることが出来た。

次世代自動車への対応、整備技術の向上に力を注ぎ、お客様の信頼獲得と安心・安全の提供、また、整備のプロとして、お客様に愛車をベストコンディションで安心してお使いいただくためのアドバイスを積極的に行い、環境保全にも寄与していく。

【個別事項】

- | | | |
|--------------|--|-------------------------------|
| 1. 環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 2. 環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 3. 実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |

代表者による全体の評価と見直し・指示は、随時行うものとする。

実施 2024 年 6 月 18 日 代表取締役 中村公彦

8. 主な活動の紹介

1、ロータス環境宣言

弊社が加盟する、全国 1600 の自動車整備事業者で組織する全日本ロータス同友会では、低炭素社会を構築する「Fan to Share」に参加し、4 項目の環境宣言を採択、その実行に取り組んでいます。

2、環境にやさしい優良事業場、中国運輸局長表彰受賞

国土交通省中国運輸局が定める基準を満たし、環境にやさしい自動車整備工場として認定され、局長表彰を受賞しました。

3、グリーンカーテン

毎年、事務所西側のウインドウ一面にゴーヤを栽培しています。
夏場に西日を遮り、冷房効果を向上させ、電力使用量の削減に役立っています。
ゴーヤの実は、ご希望されるお客様に差し上げ、喜ばれています。

4、NGP エコひろば

リサイクルパーツを供給する NGP グループと提携し、リサイクルパーツの販売を推進しています。

5、(一社) 日本自動車整備振興会認定 自動車整備技術コンサルタント

国家資格一級自動車整備士資格を有し、認定基準を満たした者に与えられる資格で、高度な整備技術と知識を元に、お客様のご相談にお応えします。

6、ハイブリッド・電気自動車取扱整備工場

7、コンピューター・システム診断認定店

(一社) 日本自動車整備振興会が定める、技術資格と設備の基準を満たし HV 車・EV 車の整備および、コンピューター・システムの診断に対応しています。
また、全日本ロータス同友会が定める「次世代自動車整備工場」にも認定され、日々進歩する先進自動車の整備技術を習得し対応しています。

8、特定整備の認証取得

令和 2 年 4 月に国が制定した、先進安全装置や自動運転車両等の電子制御装置を整備するための資格となる「特定整備の認証」を取得しました。
特定整備認証工場として最先端の自動車整備工場を目指します。

9、有機溶剤作業主任者資格

钣金塗装作業で使用する有機溶剤を適切に取扱いし、労働災害事故の防止並びに、作業環境の整備と従事者の健康管理を行っています。
また、使用する塗料や溶剤に含まれる化学物質種別と含有量の管理を年に一度、定期的に実施しています。

10、倉敷市・高梁川流域 SDGs パートナー

2020 年に SDGs 未来都市に選定された倉敷市が募集した「倉敷市・高梁川流域 SDGs パートナー」に登録し、倉敷市と共に SDGs に取り組みます。

